

# 末吉中学校便り

～生徒と保護者の皆様、地域の皆様へ～

第312号

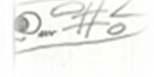
令和8年 5月29日(金)

横浜市立末吉中学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sueyoshi/>



学校行事を通しての成長



校長 鬼木 勝

5月は12日(火)～14(木)に3年生修学旅行、14日(木)～15日(金)に1年生自然教室が実施されました。28日(木)には2年生の校外学習があります。

今回は自分が一緒に参加した修学旅行の解団式で話した内容を紹介します。

1日目の松島での班別自主行動、2日目の陸前高田市での防災学習では、命の大切さや支え合うことの意味を真剣に学ぶことができました。そして3日目の盛岡、手づくり村、小岩井農場での活動でも、最後まで意欲的に取り組んでいてよかったと思います。

そのなかで、特に印象に残っているのは、地元の方々から「とても熱心で素直な生徒ですね」「挨拶をしっかりとしてくれますね」と褒めていただいたことです。時間を守り、仲間と協力して行動する皆さんの姿を、大変誇らしく感じました。

皆さんの姿は、本校の学校教育目標である「高め合う やりぬく 感動する」をまさに表していました。仲間協力しながら高め合い、3日間の活動を最後までやりぬき、そして多くの学びや出会いに感動することができた修学旅行だったと思います。この経験を末中のリーダーとして、これからの学校生活につなげ、さらに成長してくれることを期待しています。よろしくお願いします。

※絵:10組生徒

## 各学年の様子

3学年主任



先日、無事に修学旅行を終えることができました。大きな事故もなく、生徒たちが充実した時間を過ごせたことを大変うれしく思います。これも保護者の皆様のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。修学旅行では、班別行動や集団生活を通して、仲間と協力することの大切さや、自分たちで考え行動する力を身につけることができました。時間を守る、周囲に配慮するなど、最上級生として頼もしい姿が多く見られ、大きな成長を感じました。今回の経験は、楽しい思い出としてだけでなく、これからの学校生活や進路選択にもつながる大切な学びです。「仲間と支え合う力」「自ら判断する力」「責任をもって行動する力」これらを日常生活や学習にも生かしていくことが大切です。これから1学期は定期テスト、保護者面談と進路選択に関わる大切な時期を迎えるとともに、部活動の総決算の時期も迎えます。

す。健康に気を付けながらも、一日一日一生懸命がんばって、青春してほしいと思います。そして2学期は体育祭、合唱コンクールがあります。素晴らしい行事になるようにみなさんで楽しんでいきましょう。



2学年主任



新しい環境にも慣れ、クラスの雰囲気も和やかになりつつあります。2年生になり、後輩ができた心境はどのようなものなのでしょうか。

さて、今年度は次の3つの目標を達成できるようにしてほしいと思います。

- 1 一人ひとりが安心して、豊かに中学校生活を送れるような環境を作りましょう。先生方がみなさんを支援することはもちろんですが、みなさんの力でお互いを思いやる優しい雰囲気を作れるようにしてほしいと思います。
  - 2 日々の学習活動に対して、目標を持ち、あきらめずに粘り強く取り組んでください。毎日の小さな積み重ねが、来年につながります。うまくいかないときは、先生や周りの仲間の力を借ります。
  - 3 互いを認め合い、高めあえるような学年に成長してください。学習、行事、委員会活動、部活動などに一生懸命取り組んで、充実した1年間を過ごしてほしいと思います。
- 赤学年のみなさん、保護者のみなさま、地域みなさま、1年間よろしく願いいたします。



1学年主任



先日行われた自然教室では、子どもたちの素晴らしい姿がたくさん見られました。「自然を大切に安全に楽しもう～Let's go 山梨～」というスローガンのもと、慣れない環境の中でも声を掛け合って班の活動に取り組み、時間を守ろうときびきびと行動する姿に、中学生としての大きな頼もしさを感じました。また、日々の授業にも前向きに頑張っており、本格的に始まった部活動では、先輩たちの背中を追いかけて真剣に取り組んでいる姿が印象的です。

一方、学年全体の課題としては、「チャイム前着席の徹底」です。授業と休み時間の切り替えが曖昧になり、チャイムが鳴ってから席に移動する姿が散見されます。また、友達同士の距離が近くなった分、相手の気持ちを考えずに、嫌な言葉を口にしたり、意地悪な行動をしてしまったりする場面が少しずつ増えてきました。集団で心地よく過ごすためのマナーについて、今一度指導を行っているところです。

中学校生活の土台を作る大切な時期です。できたことは大いに褒め、課題には毅然と向き合い、一歩ずつ成長していけるよう、学年全体でサポートしていきたいと考えています。



## 3年 修学旅行

「つなぐ ～命・友情・学び～」という学年スローガンのもと東北へ2泊3日で修学旅行に行ってきました。1日目、仙台まで新幹線でクラスの友人とおしゃべりしたりカードゲームしたりして楽しい時間を過ごしました。松島での班別活動では事前に調べた場所をめぐったり松島の景色を堪能したり遊覧船に乗ったりしました。また、ホテルに着いた後には防災講話として実際に被災した方から貴重な話を聴くことができました。宿泊したホテル松島大観荘の部屋からも松島の景色を堪能できました。

2日目は岩手県・陸前高田市に移動して震災学習をしました。東日本大震災を後世に伝える伝承館で展示物を見たりガイドさんの話を聞いたりしました。また、実際に被災して当時の様子をそのまま残している現地の中学校（現在は震災遺構として保存されています）を、ヘルメットをかぶってガイドさんの案内のもと見学しました。教室の中には津波によって教室がぐちゃぐちゃにされた様子やドアや壁が津波の威力で変形している様子を見ることができて、震災の恐ろしさを目の当たりにしました。丸1日実際にいろんな施設や資料を見て学習したことをふまえて、2日目の最後には被災して亡くなられた方々を追悼する献花をして、東日本大震災の復興ソングの「花は咲く」を歌うことで被災した方々への思いを届けました。

3日目は盛岡手づくり村と小岩井農場に分かれて学級別に体験活動をしました。盛岡手づくり村では竹細工や絵付をして自分だけのオリジナル作品をつくり上げて貴重な体験ができました。小岩井農場では牛小屋で乳牛を近くで見てふれあう貴重な体験ができました。

修学旅行の3日間、自分たちでしおりを見て時間を守って行動したり、新しいクラスの友人との交流を深めたり、貴重な体験を通して防災について深く学習ができた、命の大切さを改めて学んだりと充実した活動をする事ができていたようでした。



## 1年 自然教室

5月14日（木）～15日（金）に、山梨県鳴沢村にある「富士緑の休暇村」に泊まり、1日目は富士山樹海洞窟の散策、2日目は防災を学ぶフィールドワークを体験してきました。中学生活が始まってまだ1か月ほどしか経っていない中、宿泊学習のために実行委員（学級委員）をはじめ、係を中心として

クラス・学年で様々な決め事や話し合いをしました。今回の自然教室では、主に「班活動」「集団行動」について考える機会が多く、この学びは、2学年の「校外学習」、3学年の「修学旅行」に繋がります。

「班活動」では、一人ひとりが役割を持ち、班のためクラスのために任された仕事に責任を持つ経験をしました。「集団行動」については、周りの様子を見て先を読み、人の話をよく聞くことを心掛けました。移動や整列がスムーズにでき、時間通りに行程を進めることができました。

時間をかけて準備したからこそ、当日もルールを守って安全に活動することができました。日頃の学校生活にも生かして学びを深め、今後の行事でさらに活躍することを期待しています!!

保護者の方々につきましては、日々の学校教育へのご理解・ご協力ありがとうございます。保護者会へのご参加やお子様の荷物の準備についてもサポートをいただいたおかげで、無事全員が安全に行って戻ってくることができました。今後も引き続きよろしくお願いいたします。

